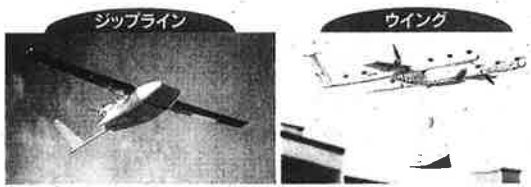
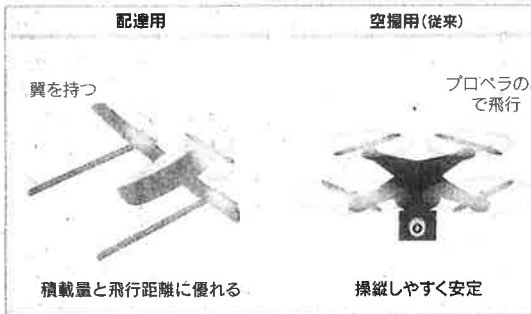


物流ドローン、商用圏拡大

米国勢は翼を持ったドローンを配達に利用する



ドローンの飛び方の違い



翼を持つ

プロペラのみで飛行

積載量と飛行距離に優れる

操縦しやすく安定

主要な物流ドローン

国、地域	企業名	実績
米国	ジップライン	アフリカで医薬品など30万回配達、米国や日本でもサービス開始
	ウイング	オーストラリアやフィンランドを中心に20万件配達
欧州	スイスポスト	病院間で物資を2000回以上配達
中国	SFホールディング	2020年に内モンゴルで大型ドローンを初飛行
	JDドットコム	四川省で自社開発の大型ドローンを実証実験
日本	楽天グループ、日本郵便	21年12月に千葉県の高層マンションで約2週間の実証実験

ドローン輸送は二酸化炭素の排出量を抑えられる



ドローンの配達市場は成長が見込まれる



「4分ほど、世界のどこかでドローンを使っている」と。ジップラインの担当者はこう実績を強調する。5年間で配達した回数は約30万回に達した。

撮影用ドローンなどに使ったプロペラのみで飛行するドローンを使う。プロペラは固定翼の飛行機と異なり、ドローン同様に2006年にアメリカのルンダで医療向けにサービスを提供する。4月には日本にも参入

新興国から日米へ

飛行実績30万回 アルファベット系健康食品を配達

海外で物流ドローンの商用化が進んでいる。スタートアップのジップラインはアメリカなどで30万回飛行し、医療品などを届け4月に日本にも参入した。米グーグル親会社アルファベット傘下のウイング・アビエーションは米テキサス州で健康食品やイスクリームの配達を始めた。新興国の郊外などで実績を積み重ね、米国や日本に商圏を拡大する例が多い。

「1分ほど、世界のどこかでドローンを使っている」と。ジップラインの担当者はこう実績を強調する。5年間で配達した回数は約30万回に達した。

撮影用ドローンなどに使ったプロペラのみで飛行するドローンを使う。プロペラは固定翼の飛行機と異なり、ドローン同様に2006年にアメリカのルンダで医療向けにサービスを提供する。4月には日本にも参入

「もう20年以上、続けていっ 畑仕事に短歌会にと 今日も人生を楽しんでい」

「ローヤルゼリーキング」 飲むようになって気分が 主人と一緒に飲んでい

ローヤルゼリー健康食品 12年連続売上 No.1

今後も飲み続けたい

述べて、医療応用などに期待を示した。ノキアは基地局インフラの世界シェアでスウェーデンを、医療応用などに期待を示した。ノキアは基地局インフラの世界シェアでスウェーデンを、医療応用などに期待を示した。

「もう20年以上、続けていっ 畑仕事に短歌会にと 今日も人生を楽しんでい」

「ローヤルゼリーキング」 飲むようになって気分が 主人と一緒に飲んでい

ローヤルゼリー健康食品 12年連続売上 No.1

今後も飲み続けたい

ローヤルゼリーキング 3つの特徴

- ローヤルゼリーの特有成分「アセチルサリチン酸」をはじめ、健康維持に役立つ素材をバランス良く配合。
- 身体への負担がかりにくいように、酵素分解技術によりローヤルゼリーのタンパク質を低分子化。
- 1包(1日摂取目安量3粒中)でローヤルゼリーが2,400mg(生換算)摂取できる。

6日分 あなたも始めてみませんか?

車よりCO2 9割削減 国産開発、コストなど課題

ドローン配達の利点と課題。ドローンは積載量が1kg程度で50分を飛行する。プロペラ型に比べて4倍のスピードで飛行し、配送のロスが少なく、コストも削減できる。ただし、バッテリーの寿命が短く、1回あたりの飛行時間が短い。また、悪天候時の飛行が難しく、配送の信頼性が低い。国産開発によるコスト削減が課題となっている。

「もう20年以上、続けていっ 畑仕事に短歌会にと 今日も人生を楽しんでい」

「ローヤルゼリーキング」 飲むようになって気分が 主人と一緒に飲んでい